

授業科目名	高等商業簿記論		科目コード	3011003	
開講クラス	税理士科	コース	税理士コース	学 年	1 年
担当教員	矢野 浩				
	実務経験教員 (有 ・ <input type="checkbox"/> 無) 実務経験内容				
開講時期	<input type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	60時間	
	<input type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	2単位	
使 用 テキスト 1	書 名	ALFA 1 I BookkeepingAccounting			
	著 者	大原簿記学校 教材開発部			
	出版社	大原出版			
使 用 テキスト 2	書 名	ALFA 1 II BookkeepingAccounting			
	著 者	大原簿記学校 教材開発部			
	出版社	大原出版			
参考図書					
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<p><授業の目的・目標> 大学卒業程度の商業簿記を身に付け、日商簿記 1 級合格を目指す。</p>					
<p><授業の概要・授業方針> 日商簿記 2 級で学習した内容をベースにして、各取引における仕訳の方法や、財務諸表との関連性を理解させる。また、大企業（上場企業）を前提とした場合における高度な会計処理を学ぶ。</p>					
<p><成績基準・評価基準> 項目の講義が終わる都度、確認テストを実施する。確認テストの他、出席率および授業態度も踏まえて、以下の 4 段階評価とする。 優・・・80～100点 良・・・70～79点 可・・・60～69点 不可・・・59点以下</p>					
<p><使用問題集・注意事項> (使用問題集) ステップアップ問題集 (注意事項) 各取引に対する仕訳をパターンで覚えるのではなく、内容を理解した上で仕訳ができるように学習させ、応用力を高める。</p>					
<p><授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他> 簿記 2 級総合 高等商業簿記論 II 会計学 会計学 II</p>					

授業科目名		高等商業簿記論
回	授 業 内 容	備 考
1	簿記一巡の手続き	
2	損益計算書	
3	損益計算書の本質、費用および収益の計上	
4	費用収益対応の原則、総額主義の原則	
5	貸借対照表	
6	貸借対照表の本質、総額主義の原則	
7	流動と固定の区分、貸借対照表の配列	
8	取得原価基準	
9	現金および預金	
10	銀行勘定調整表	
11	有形固定資産の取得原価	
12	減価償却	
13	減価償却の計算方法	
14	減価償却の適用単位	
15	無形固定資産	
16	一般販売	
17	他勘定振替高	
18	分記法	
19	返品・値引・割戻・割引の処理	
20	原価率・利益率、付加利益率	
21	確認テスト	
22	棚卸資産の範囲、分類	
23	棚卸資産の取得原価（数量計算・単価の決定）	
24	棚卸減耗	
25	収益性の低下による簿価切下げ	
26	損益計算書の表示等	
27	売価還元法	
28	未着品売買	
29	委託販売	
30	委託販売（積送諸掛の会計処理）	
31	試用販売（手許商品と区別する方法）	

32	試用販売（対照勘定法）	
33	予約販売	
34	割賦販売（販売基準）	
35	割賦販売（回収基準）	
36	割賦販売（対照勘定法）	
37	割賦販売（未実現利益控除法）	
38	割賦販売（回収期限到来基準）	
39	割賦販売（回収期限到来基準：対照勘定法）	
40	割賦販売（回収期限到来基準：未実現利益控除法）	
41	確認テスト	
42	売買目的有価証券	
43	満期保有目的の債券（償却原価法：定額法）	
44	満期保有目的の債券（償却原価法：利息法）	
45	子会社株式・関連会社株式	
46	その他有価証券	
47	有価証券の減損	
48	外国通貨および外貨建金銭債権債務	
49	外貨建有価証券（売買目的有価証券）	
50	外貨建有価証券（子会社株式・関連会社株式）	
51	外貨建有価証券（満期保有目的の債券）	
52	外貨建有価証券（その他有価証券（株式））	
53	外貨建有価証券（その他有価証券（債券））	
54	外貨建有価証券の減損処理	
55	社債	
56	社債の貸借対照表価額	
57	社債の会計処理（償却原価法：定額法）	
58	社債の会計処理（償却原価法：利息法）	
59	社債の満期償還、買入償還	
60	確認テスト	